



サルビア

令和3年8月27日

第44号

子どもたちも意識高く



子どもたちが新型コロナウイルス感染症から身を守る行動を自発的にとるようになるにはどうしたらいいのだろう……。日々、そのことを考えています。

2学期のスタートにあたり、感染症対策をもう一度見直す中、休み時間の児童玄関（3、4、5、6年生用）の混雑が心配になりました。特に校庭から戻ってくる場面です。戻る時間を学年で区切り、合図でもしよつか等いろいろな悩みましたが、子どもたちへの意識付けでなんとか解決できないかと考えました。「休み時間終わりのチャイムがなったら、3・4年生は急いで児童玄関に入り、5・6年生は『お先にどうぞ』の気持ちでちょっとだけ待ってあげる。そういった意識づけで混雑を解決できないでしょうか。」25日の職員会議で先生方に投げかけ、その後休み時間に戻りの様子を観察しました。すると……

3・4年生の戻りの早いこと、早いこと。今までの3倍ぐら速さで校舎に吸い込まれていきます。「3・4年生は急ごう」「ソーシャルディスタンスねー。」と子どもの声も聞こえてきました。5・6年生もさすがです。上手に時間差を付けながら教室に戻って行きました。教員の誘導や制止がなくても混雑が緩和され、いいあんなばいでした。子どもたちに「急いでくれて、待っててくれて、どうもありがとう。」と伝えたいです。学校内外で似たような場面に遭遇したとき、自分や周囲の人のためにどう動くことがいいのかを考えるきっかけになればいいと思います。

夏休み明けの 漢字検定（8 / 25）



2学期は、漢字検定でスタート！

どのクラスも、しんと静まりかえってました。練習の成果がでたでしょうか？

**1年生は ひらがな検定
がんばれ！
がんばれ！**

朝の検温で自分・家族・友達を守る



朝、家で検温を忘れてきた子は、会議室で体温を測ってから教室へ向かいます。初日はおよそ30名の児童が来室、職員2人で対応しました。2日めは10名に減りました。『おはよう。熱はかるよ』を朝のあいさつにするといいよ』とアドバイスをしています。

自分の平熱を言える子が多く、感心しました。自分自身の体調を把握することは「自分の命を守ること」につながります。

↑会議室の検温セットです。検温結果は記録用紙で担任に伝わるようにしました。

～各担当からの感染症対策の確認がありました～

緊急事態宣言が出てからすぐに各担当から感染症対策の強化徹底について、教職員全体への確認がありました。以下、例をご紹介します。

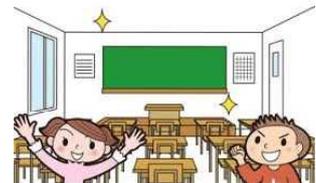
○給食担当から

- ・机を向かい合わせにしない、会話を控える。
- ・給食当番以外の児童は、自分の席に静かに座って待つ。
- ・給食当番の体調、身支度について確認し、静かに行動する。
- ・配膳の際は、児童が混み合わないよう注意する



○清掃担当から

- ・緊急事態宣言中は児童による床の雑巾がけ（から拭き・水拭き）をしない。
- ・床の汚れが気になるときは、ワックス用モップに雑巾を付けてふく。



○図書担当から

- ・夏休み前に借りた本は、学年ごとに時間を割り振って返却する。（図書室の密をふせぐため）



○養護教諭から

- ・身体計測時の感染症対策の確認
赤白帽子をかぶり、靴下・上履きを履いたまま測定。
必ずマスクを着用することと、ソーシャルディスタンスを保ち、静かに身体測定を受ける。



子どもたちの学校生活を守るため、教職員がそれぞれの立場でアイデアを出しています。

